

製品・サービス動向-国内

■IJJ グローバルソリューションズ：クラウド型ビデオ会議サービス「COLLABO de!World」が Microsoft Lync と Vidyo との相互接続に対応

株式会社 IJJ グローバルソリューションズ（東京都千代田区）は、同社が提供するクラウド型ビデオ会議サービス「COLLABO de!World」が、Microsoft Lync と Vidyo との相互接続に対応したと発表。4月1日より提供を開始する。（3月16日）

COLLABO de!World は、IJJ のクラウドサービス「IJJ GIO（ジオ）サービス」の基盤上で提供するビデオ会議サービス。世界 50 か国で利用することができる。ビデオ会議端末のレンタル、多地点接続サービス、エンドユーザサポート（日本語・英語）などがパッケージ化されているフルマネージドサービス。



COLLABO de!World 概要図 (IJJ グローバルソリューションズ)

これまでの「Cisco TelePresence シリーズ」に加えて、Microsoft Lync および Vidyo に相互接続の範囲を広げることで、より多くのユーザのニーズに対応することが可能になった。

対応する製品およびソリューションは以下の通り。

(1) UC 端末・UC ソフトウェア：「Cisco Unified Communications」、(2) ビデオ会議端末：「Cisco TelePresence」、(3) ビデオ会議ソフトウェア：「Cisco Jabber」「Vidyo」、(4) 他社サービス連携：「Cisco WebEX」「Microsoft Lync」。

参考価格について。UC 端末・UC ソフトウェアで 100 名のユーザが利用する場合：月額 280,000 円～（税抜）。また、ビデオ会議端末 2 台、ビデオ会議ソフトウェア（Vidyo）で Microsoft Lync と連携し 20 名のユーザが利用する場合は、月額 84,000 円～（税抜）。

■東和エンジニアリング：モバイルテレビ会議システムを HD カメラ搭載にバージョンアップ、軽量化したライト版も発表

(3月22日、News2u.net)

株式会社東和エンジニアリング（東京都台東区）は、同社が提供するテレビ会議をどこでも使える「モバイルテレビ会議システム」の内蔵カメラについて仕様変更を行い、Web カメラから HD カメラ搭載にした。



モバイルテレビ会議システム（東和エンジニアリング）

同社のモバイルテレビ会議システムは、野外や電源が

確保できない場所でのテレビ会議を可能にする。テレビ会議システム、バッテリー、ディスプレイ、ルータなどの周辺機器をスーツケースにまとめ手軽に持ち運べ、ケースを開ければすぐにテレビ会議を開始できる。

災害時の緊急連絡、屋外現場における連絡用、工場視察などの中継、会議室への持ち込みなど1台あれば幅広いシーンで活用できるという。

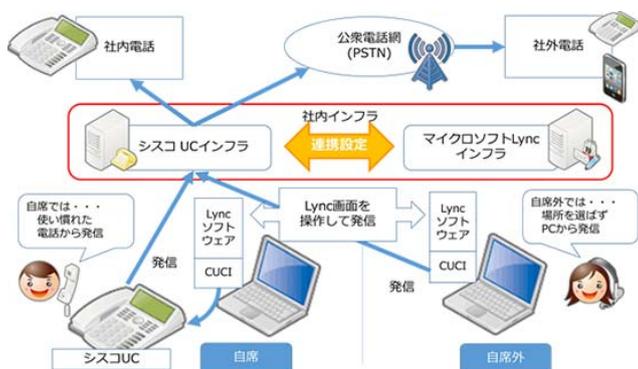
また、導入ユーザが用意した AC 電源やネットワークを利用できる「【ライト版】モバイルテレビ会議システム」もラインナップした。バッテリー、ルータを搭載していない軽量タイプで、より持ち運びが便利だ。

東和エンジニアリングは、ICT・音響・映像のソリューションにおいて、学校、企業、公共施設などにおける災害時に強い環境づくりをサポートする。

■ユニアデックス：マイクロソフト Lync とシスコ UC 連携ソリューション「CUCI Lync」を提供開始

(3月26日)

ユニアデックス株式会社(東京都江東区)は、マイクロソフトとシスコシステムズの両社のユニファイドコミュニケーションを連携するソリューション「Cisco UC Integration for Microsoft Lync(以下、CUCI Lync)」の提供を開始する。



CUCI Lync 構成概念図 (ユニアデックス)

CUCI Lync (PC ベースのソリューション) を導入することで、すでにマイクロソフト社の「Microsoft Lync」

と「シスコユニファイドコミュニケーション」の両方を利用しているユーザは、シームレスなインスタントメッセージングと電話・ビデオ環境を短期間に構築することが可能だ。また、導入支援やサポートなどのサービス提供も行う。

具体的には、プレゼンスの確認やインスタントメッセージ、音声やビデオ通話などが行えるようになる。また、一般的な電話と同様に使い慣れたハードウェア IP フォンとの連携も可能なため、ワークスタイルや勤務環境に合わせた電話端末の選択が可能だ。

ユニアデックスは、2000 年からシスコ UC の取り組みを続けてきて、これまでに 100 社以上の企業に 15 万台以上の IP フォン「シスコ UC 端末」を導入した実績がある。また、国内で初めてシスコ UC 関連で「マスター UC スペシャライゼーション(現在: マスターコラボレーションスペシャライゼーション)」を取得している。さらに、「マイクロソフトゴールドコンピテンシー」を持つ日本ユニシスと連携しており、日本マイクロソフト製品の導入実績も多数あるという。

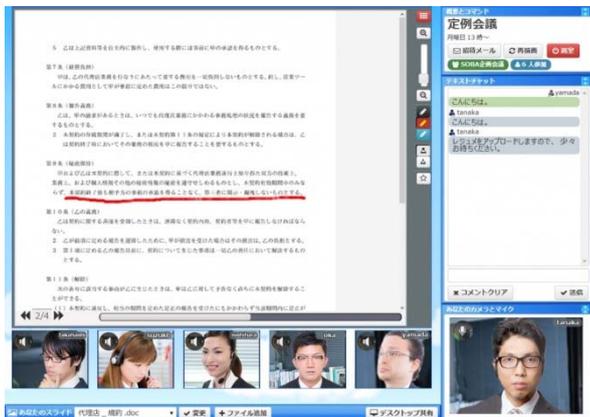
なお、CUCI Lync の対象商品については、「Cisco Unified Communications Manager (CUCM)」バージョン 10.5 と「Microsoft Lync 2013(32 ビット版)」となっている。

■SOBA プロジェクト：SOBA ミエルカ・クラウド、スライド共有がマルチフォーマット対応に

株式会社 SOBA プロジェクト(京都市下京区)は、同社が提供しているクラウド型 Web 会議「SOBA ミエルカ・クラウド」のスライド共有についてマルチフォーマットに対応したと発表。(3月26日)

「マルチフォーマット対応」とは、Web 会議でさまざまなファイル形式の資料を使用可能にするために採用した同社独自の機能。業界初となるという。今回対応したファイル形式は、pdf、bmp、jpg、jpeg、png、gif、

doc、docx、docm、xls、xlsx、ppt、pptx。



Word 資料の共有イメージ (SOBA プロジェクト)



ミエルカ・クラウドのデータ管理画面 (SOBA プロジェクト)

ファイルは、ワンクリックでアップロードし、資料を使った Web 会議が行える。また、書き込んだ内容 (赤の下線) も資料と一緒にクラウド上で保存するため (「データ管理」メニュー)、別の会議でも同じ資料をワンクリックで共有することができる。

一般的な Web 会議では、対応するファイル形式が Microsoft Office や PDF などに限られているが、一方、ミエルカ・クラウドは、ユーザからの要望を参考に、図面やデザインなどで使われるファイル形式など対応ファイルを順次追加し、幅広い用途で利用できる Web 会議へと拡充する予定だ。

マルチフォーマット対応は、ミエルカ・クラウドの基本月額額のみで利用できる。同時接続数での契約で、

「5」・「10」・「20」・「50」のプランがある。同時接続数 5 では、月額 25,000 円 (税別) で提供している。また、50 では、月額 180,000 円 (税別) となっている。

■フェニックスエンジニアリング:VTech 社のワイヤレスマイク電話会議システムの国内販売を開始

(3月26日 @Press)

株式会社フェニックスエンジニアリング (埼玉県入間郡) は、VTech Telecommunications 社 (香港) と総代理店契約を締結し、同社のワイヤレスマイク電話会議システム「ErisStation(エリス・ステーション)」の国内販売を3月26日から開始する。



ワイヤレス電話会議システム ErisStation

VTech Telecommunications 社は、VTech Holdings 社 (香港、HKSE:303) の子会社で、コードレス電話の世界最大手。1976 年設立。コードレス電話で培った専門知識と実績を活かし、ビジネス電話ソリューションの製品ラインナップを充実させている。委託製造サービスも提供している。ErisStation は、2014 年 3 月に北米を中心に発売し、電話会議を革新する製品として高い評価を得ているという。

ErisStation は、VTech 社の独自技術 (Orbit link Wireless Technology) により、本体に内蔵の 2 個のマイクと、4 個のワイヤレスマイク (本体から取り外して自由に配置可能) を同時に接続することで会話を可能にし

ている。DECT 準拠で、携帯電話などの他の無線機器との電波干渉を防ぐ。

ワイヤレスマイクは本体に一体化されたマグネット式の充電ドックにセットして充電する。連続通話可能時間は 8 時間で長時間の会議にも対応できるとしている。

また、雑音除去、エコー除去、音量レベルの一定化などの音響処理技術によって高音質を実現しており、大きな声で話す必要はないという。これらの音質補正は、リアルタイムに行われるため、マイクの位置が移動しても高音質を維持できる。そのため、マイクを持って会話することも可能という。

そのほか、本体には、ホワイトバックライトの大型ディスプレイを備え、電話帳や着信履歴などの通常の電話機機能を搭載している。

なお、フェニックスエンジニアリングは、今回の発売に合わせて、電話会議サービス「Meeting+」を提供するクラウドプラス株式会社（神奈川県横浜市）と業務提携した。両社は、ErisStation と Meeting+ をセットにしたパッケージを直販および販売パートナー経由で 3 月 26 日から提供を開始する。Meeting+ は、固定回線（アナログ）と SIP を利用したハイブリット型サービスで、従量課金と定額制を選択可能なほか、多地点通話や参加者一斉呼出し機能、アナログと SIP を組み合わせ、などで BCP 対策などにも有効と説明している。

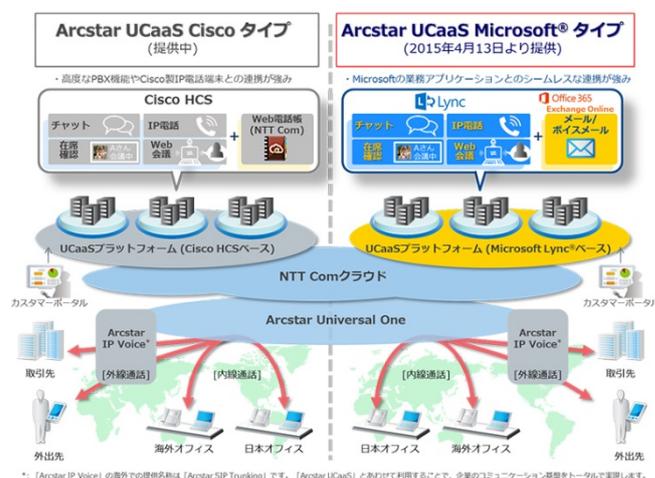
フェニックスエンジニアリングは、1972 年設立。大手メーカーの音響機器、通信機器の商品開発や設計を担ってきたスペシャリスト集団。映像機器や産業機器などの総合エレクトロニクス分野から、マルチメディア時代に向けた商品・技術の開発など幅広い事業を展開している。

■NTT コミュニケーションズ:クラウド型ユニファイドコミュニケーションサービス「Arcstar UcaaS Microsoft タイプ」の提供開始

(3 月 30 日)

NTT コミュニケーションズ株式会社（東京都千代田区）は、「Microsoft Lync」をクラウド上で提供する企業向けサービス「Arcstar UcaaS Microsoft タイプ」を発表した。

NTT コミュニケーションズは、2011 年より、クラウド型ユニファイドコミュニケーションサービス「Arcstar UcaaS」を 169 の国と地域に展開してきた。今回、このサービスは「Arcstar UcaaS Cisco タイプ」と名称変更するとともに、「Office365」などのアプリケーションとの連携に対するニーズが高まっていることを受け、Microsoft Lync を活用したサービスをラインナップに追加することになった。



サービスの特長 (NTT コミュニケーションズ)

Arcstar UcaaS Microsoft タイプは、同社の企業向け VPN「Arcstar Universal One」上で提供される。内線電話・チャット・プレゼンス・Web 会議などに加え、Office365 や「Exchange」などマイクロソフトのビジネスアプリケーションとのシームレスな連携に対応している。また、企業向け IP 電話サービス「Arcstar IP Voice」

との組み合わせも可能だ。

NTT コミュニケーションズとしては、導入前のコンサルティングから機器提供、既存環境からの移行、保守・運用・サポートまでをワンストップで提供する。

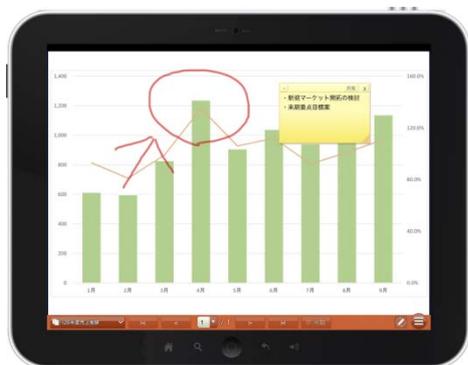
なお、サービスのグローバル提供においては、2014年1月にNTT コミュニケーションズグループとなったArkadin社(アルカディン)の技術とグローバルオペレーションのノウハウを活用する。

今後は、米国・欧州・アジア太平洋エリアへ順次展開する予定。また、従来提供している遠隔会議系サービス「Arcstar Conferencing」との機能連携を深めていく。

■NTT アイティ：「MeetingPlaza ペーパーレス会議」を全面リニューアル

(3月30日)

NTT アイティ株式会社(横浜市中区)は、ペーパーレス会議システム「MeetingPlaza ペーパーレス会議」オンプレミス版を全面リニューアルし、4月上旬より販売を開始する。



手書きメモ・ふせん機能の画面イメージ (NTT アイティ)

新しい MeetingPlaza ペーパーレス会議では、これまで提供してきた、専用ソフトウェアが不要(ブラウザで閲覧)、手書きメモ機能といった特長に加えて、円滑な会議運営を支援する「司会進行管理機能」、テキスト入力可能な「ふせん機能」、「レーザーポインタ機能」などを充実させた。また、ユーザインターフェイスを全面的に見直し、さらに見やすく使いやすくした。

これらにより、会議運営者はより効率的な会議運用ができるようになった。また、参加者は、紙のように手軽で直感的な操作に加え、PC・タブレットならではの便利な利用が可能になった。

MeetingPlaza ペーパーレス会議は、以上のほか、「専用URL発行/QRコード生成」、「IPアドレス制限/パスワード設定」などの機能も提供する。予約型/常設型と会議形態を柔軟に選択することもできる。

価格は、基本ライセンス料金が90万円(税別)、接続ライセンス料金1万円/接続(税別)となっている。なお、別途、保守料金が必要となる。

NTT アイティの MeetingPlaza は、4,000社を超える導入実績を持つオンライン会議システム。従来から、日本国内および海外に向け、PC・タブレット利用のペーパーレス会議や Web 会議をサービス/オンプレとして提供してきた。

製品・サービス動向-海外

■アバイア社：ビデオ会議ソリューションの新製品・機能拡張などを発表、1080p60、H.265対応なども

(日本アバイア：3月16日)

アバイア社(米国・ニュージャージー州)は、新たなチーム・エンゲージメント・ソリューションを発表した。

チーム・エンゲージメント・ソリューションにより、ユーザは、場所に関係なく、デスクトップ・モバイル・会議室向けと多様なデバイスでビデオコミュニケーションを使うことができるようになる。今回発表された新しいエンドポイントによって、「AvayaLive Video」を含むアバイアクラウドソリューションを簡単かつ安価に拡張できるようになった。

今回発表された新製品・機能拡張などは以下の通り。

(1) ビデオ会議システム「SCOPIA XT 7100」：H.265コーディングに対応し、もっとも効率的な帯域幅の使用

が可能になった。1080p60 までのビデオ品質をサポートし H.264 ハイプロファイルにて使用帯域幅を最大 50%削減できる。

(2) ビデオ会議システム「SCOPIA XT 4300」：中小規模の会議室向けに解像度のビデオ会議機能を提供。手ごろな価格でハイエンドシステムと同じ機能を数多く提供する。

(3) SCOPIA ビデオ会議拡張：ユーザがノート PC から無線で直接コンテンツを共有可能。スマートフォンまたはノート PC 上で始めた会議をルームシステムにスムーズに移行することが可能。モバイル端末やデスクトップでも 1080p フルビデオ品質に対応。

(4) ビデオストリーミングとレコーディング：レコーディングはフル HD 対応。10 万人規模にブロードキャストが可能で、Youtube に似た拡張性の高いポータルを提供している。

(5) パーソナル・デスクトップ・デバイス「H175 Video Collaboration Station」：高解像度カメラと 7 インチ HD タッチスクリーンディスプレイ搭載。WiFi Bluetooth、Outlook カレンダー、プレゼンスなどの機能に対応している。また、コードレスハンドセットやスピーカーフォン (HD 音声機能) も装備されている。



H175 Video Collaboration Station (日本アバイア)

(6) 「E159/E169 Media Station」：スタンドアロン SIP デスクトップデバイスとして使用しながら、iPhone

や iPad、Samsung Galaxy スマートフォン・タブレットをサポート。充電も同時に行える。

ビジネス動向-海外

■アバイア社の SCOPIA ビデオ会議ソリューションがアルテラ社の H.265 コーデックソリューションを採用

(3月17日)

アルテラ社 (米国・カリフォルニア州) は、同社の H.265 ビデオ・コーデック・ソリューションが、アバイア社の新しい SCOPIA ビデオ会議システムに採用されたと発表。

アルテラの H.265 コーデックは、インテル 14nm トライゲート・プロセスで開発されており、単一の低消費電力チップ (FPGA) 上で、マルチチャネルの 1080p60 ビデオと 4K 画質をサポートし、全二重エンコーディング/デコーディングを実現している。同社の技術により、ハイエンドの FPGA ハードウェアと IP ソフトウェアを組み合わせることで、高性能な H.265 コーデックを提供。高品質の映像を超低遅延で配信できるようにライブストリームをエンコードすることが可能という。

H.265 アルゴリズムはチップに組み込む形で提供されており、アバイア社は、アルテラ社の H.265 コーデックを使用した「Avaya Scopia XT7100」を 3 月 11 日に発表している。アルテラ社のソリューションにより、SCOPIA は、製品コストを抑えるのに必要な効率性を兼ね備えた、高品質なビデオ会議ソリューションにすることが出来たとアバイア社では評価している。

アルテラ社の日本法人は、日本アルテラ株式会社 (東京都新宿区)。

導入・利用動向-国内

■ジェーシービー：手話通訳窓口「JCB 手話デスク」を開設

(3月16日)

株式会社ジェーシービー（東京都港区）は、株式会社プラスヴォイス（宮城県仙台市）と提携し、聴覚障がいのお客様向けの手話通訳窓口「JCB 手話デスク」を3月17日より開設する。

JCB 手話デスクは、聴覚や言語に障がいのお客様からテレビ電話を通じて、各種資料の請求・サービスの問い合わせなどを手話で受け、オペレータがお客様の代わりに JCB に音声通話をかけるもの。

受付時間は年中無休で午前 9 時から午後 5 時まで（カード紛失・盗難の場合は午前9時から午後8時まで）。Skype・LINE・FaceTime の JCB 手話デスク アカウントへビデオ通話でコールする。

従来は、聴覚や言語に障がいのお客様からの問い合わせに対しては、会員専用 WEB サービス「MyJCB」や Eメールや書面での手続きに限定されており回答に時間を要したり、また、JCB カードに関する手続きでは、代理人を通しての問い合わせの場合、プライバシーの関係から限界があった。

JCB 手話デスクでは、テレビ電話を通じての各種問い合わせや手続きが可能になる。また、お客様本人からの問い合わせに JCB 手話デスクが窓口になることで、プライバシーに配慮したよりスムーズな対応が可能になるという。

>>株式会社ジェーシービー <http://www.jcb.co.jp/>

■静岡銀行：ワークスタイル変革と事業継続体制の更なる強化のためシスコのコラボレーションと無線 LAN ソリューションを導入

(3月23日)

シスコシステムズ合同会社（東京都港区）は、株式会社静岡銀行（静岡県静岡市）が、新たに建設し業務を開始した新本部棟の ICT 基盤にシスコのコラボレーションインフラと無線 LAN ソリューションを導入したと発表。

静岡銀行は、1964 年竣工の本部建物の老朽化を踏まえ、創立 70 周年記念事業の一環として、本部棟を新たに建設。「しずぎん本部タワー」を 2014 年に竣工した。

新本部棟に新たに設置した非常事態対策室では、監視カメラ、各拠点のビデオ会議映像、テレビ放送、Web 画面など最大 27 画面を同時表示できるシステムを導入。また、その中核としてビデオ会議システムを活用し、リアルタイムの情報を非常事態対策室で集中把握することで、各種災害や緊急事態の発生時における速やかな状況の把握と意思決定を可能としている。加えて、非常事態対策室の LAN ポートに IP 電話を接続することで瞬時に電話環境を作ることできる。

ビデオ会議システムは、同行の 177 拠点と本部の全拠点に導入しており、複数店舗間の会議、本部スタッフによる各支店への双方向な研修の実施などで活用する。これにより、行内の業務スピードとコミュニケーション向上に加え、移動時間や交通費の削減を実現できている。もともとは有事対応のための設備として導入したが、平時でも設備を有効活用しており、日頃から活用することで、操作の仕方を覚え、有事の際にもスムーズに対応できると同行では考えている。

無線 LAN ソリューションを全フロアに展開するとともに IP フォンも導入。フリーアドレスにより、オフィス内のどこでもすぐにミーティングが行える環境を実現した。この IP フォンによって、行員はどこにいても電話にログインすることで、自席の環境を作ることが可

能となっている。

なお、今回導入されたシスコのシステムは以下のとおり。ビデオ会議システム「Cisco TelePresence SX20」「Cisco TelePresence EX60」、IP フォン「Cisco IP Phone 7800 シリーズ」「Cisco Unified IP Phone 9900 シリーズ」のほか、無線 LAN ソリューション「Cisco 5508 Series Wireless Controller」「Cisco AP2600」など。

>>株式会社静岡銀行

<http://www.shizuokabank.co.jp/>

PR

>株式会社日立ハイテクノロジーズ

<http://cnar.jp/Hitachi-HighTech3.htm>

セミナー・展示会情報

<国内>

■BIG PAD を活用したクラウド型 Web 会議サービス

「TeleOffice」体感セミナー

日時：4月7日(水)/4月22日(水) 14:00~16:00

※2015年9月までの日程あり。

会場：シャープ株式会社 東京支社

主催：シャープビジネスソリューション株式会社

詳細・申込：

<http://www.sharp-sbs.co.jp/event/regular/teleoffice-a.html>

■【2本立て】海外でも“しっかり”繋がる Web 会議&成果が3倍になる Web セミナー

日時：4月9日(木) 14:00~17:00

会場：ブイキューブ本社(東京都目黒区)

主催：ブイキューブ株式会社

詳細・申込：<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/178>

■Polycom Day 2015 第1回『働き方は一通り？ スマートオフィスとさまざまなコラボレーションの実現をめざして』

日時：4月16日(木) 14:00~(開場：13:30)

会場：日本スチールケースショールーム(東京都港区)

主催：ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

■PCでもiPadでも！快適な音声品質を実現する

Web 会議システム「IC³」導入・活用セミナー[東京会場]

日時：4月16日(木) 15:30~17:30(受付：15:00)

会場：キヤノンソフトウェア本社(東京都品川区)

主催：キヤノンソフトウェア株式会社

詳細・申込：<http://www.canon-soft.co.jp/seminar/rd.html?278>

■PCでもiPadでも！快適な音声品質を実現する

Web 会議システム「IC³」導入・活用セミナー[大阪会場]

日時：4月22日(水) 15:30~17:30(受付：15:00)

会場：キヤノンソフトウェア 大阪堺筋事業所(大阪市中央区)

主催：キヤノンソフトウェア株式会社

詳細・申込：<http://www.canon-soft.co.jp/seminar/rd.html?279>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

Web の方の情報もご参照ください。

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2015年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

<http://cnar.jp/home/CNAarchive/cnar-15-0331.pdf>

CNAレポート・ジャパン2015年3月31日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp